

「ダイヤモンド」になって世に残る...

～日本人からスイス製へ生れ変わる～

何のタイトル?と思った方も多いと思いますが、今月はちょっと変わった話題をご提供致します。あまり知られていませんが、スイスにアルゴダンザ (ALGORDANZA) という会社があります。この会社は、亡くなった人の遺骨から人工的にダイヤモンドを製作する技術を持っています。遺骨に含まれる炭素成分を抽出し、高温高压をかけて人工的に合成ダイヤモンドを製造します。俗に言う人工ダイヤとは、天然には存在しないジルコニアのことで、これは化学組成等、ダイヤモンドとは異なりますが、アルゴダンザ社が遺灰に含まれる炭素から製作する、この合成ダイヤモンドは、その化学組成・硬度共に天然ダイヤと同様のものとなります。合成ダイヤモンドの製作が可能になったのは、約50年ほど前のこと、アメリカのGE社が世界で初めて完成させました。しかし宝飾用レベルの合成ダイヤモンドは生産が難しく、また比較的高価なもので、一般に工業用の用途以外は殆ど普及していません。

アルゴダンザ社では、独自の炭素抽出技術を用い、遺骨からの高純度の炭素を抽出して透明度の高いダイヤモンドを製造することに成功しました。合成ダイヤモンドでは黄色味のかかったダイヤモンドが一般的ですが、同社の特殊製法により、希少なブルーダイヤが誕生します。このブルーの色味は着色によって起こるものではなく、遺灰に含まれる極わずかなホウ素の量により自然に決定されるもので、ほとんど無色透明からブルーまでの美しい色合いになります (完成時の色の指定は出来ません)。ダイヤモンドの製作には、通常300gの遺骨が必要となります。これは、成人男性の遺骨の1/4から1/5に相当します。平均的な製作期間は約半年、製作されるダイヤモンドのサイズは、0.2Ctから1.0Ctまでの10サイズとなります。クラリティー (Clarity) は、殆どがVSクラスという実績のようです。仕上がりは、原石のままというメニューもありますが、「ラウンド・ブリリアント」「プリンセス」「アッシュヤー」の3つのカットにも加工可能です。さて、その気になるお値段は下表の通りです。実際に、この「ダイヤモンド葬」を利用した人は、お墓の無い人やお墓を作りたくない人、子供達に負担をかけたくない人、葬儀やお墓にかけのお金はもっと有効に使えと感じた人達で、亡くなっていても身近で輝き見守られていると実感できるそうです。例えば、仲の良かった両親の遺骨を混ぜ合わせて1つのダイヤモンドにするなんていうことも出来るのではないかと思います。お墓と一緒に埋葬するよりも、確実にあの世に行っても一緒になれる気がします。母親の形見の指輪というのは、よくある話ですが、これからはダイレクトな意味を持つものになるかもしれません。なお、製造されたダイヤモンドには、アルゴダンザ社の発行するスイス製の保証書が付属され、本体には顕微鏡でしか見えない大きさで、個人の番号がレーザー刻印されるそうです。

真剣に興味のある方は、スイスのアルゴダンザ本社で製造現場見学ツアーもあります。
<http://www.algordanza.com/>

サイズ	保障範囲	カットダイヤモンド		原石	
		スタンダードタイプ	スタイラスタイプ	スタンダードタイプ	スタイラスタイプ
0.20 Ct	0.16ct-0.25ct	¥480,000	¥530,000	¥420,000	¥470,000
0.25 Ct	0.21ct-0.25ct	¥580,000	¥630,000	¥460,000	¥510,000
0.30 Ct	0.26ct-0.35ct	¥680,000	¥730,000	¥540,000	¥590,000
0.40 Ct	0.36ct-0.45ct	¥880,000	¥930,000	¥700,000	¥750,000
0.50 Ct	0.46ct-0.55ct	¥1,120,000	¥1,170,000	¥920,000	¥970,000
0.60 Ct	0.56ct-0.65ct	¥1,420,000	¥1,470,000	¥1,180,000	¥1,230,000
0.70 Ct	0.66ct-0.75ct	¥1,880,000	¥1,930,000	¥1,360,000	¥1,410,000
0.80 Ct	0.76ct-0.85ct	¥1,980,000	¥2,030,000	¥1,580,000	¥1,630,000
0.90 Ct	0.86ct-0.95ct	¥2,240,000	¥2,290,000	¥1,780,000	¥1,830,000
1.00 Ct	0.96ct-1.05ct	¥2,480,000	¥2,530,000	¥1,980,000	¥2,030,000

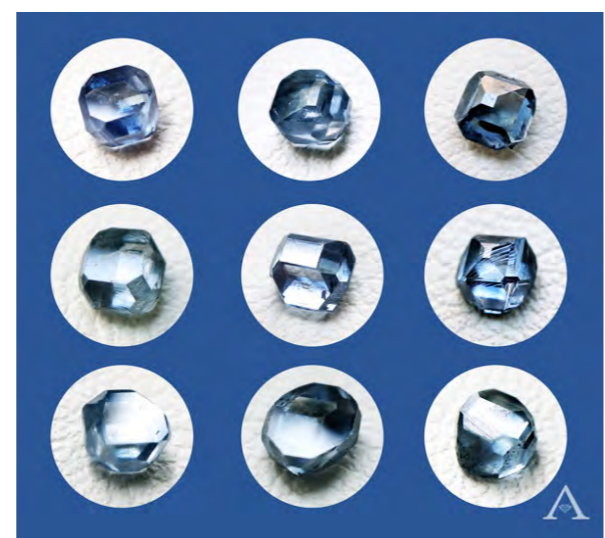


↑火葬後も、遺骨中に含まれる炭素を取り出し、人工的に高温高压にかけるとして製造された合成ダイヤモンド

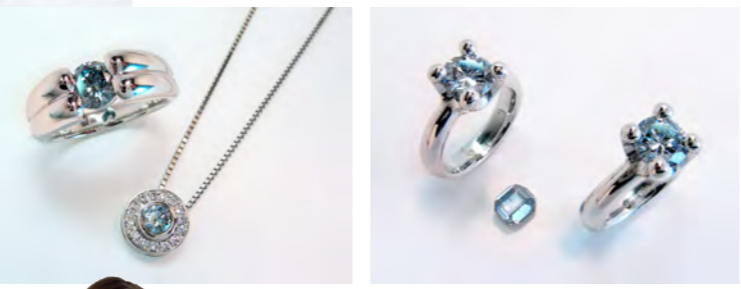
このようなジュエリーに仕上げるには、左表のダイヤモンド代金に加え、別途費用がかかります。



実際に製作されたダイヤモンドの色味



原石は、カット、研磨していない純粋な形で、少し丸かったり、角ばっていたり、長細かったり、表面に少し荒目の磨き跡がついている事もあります。



T O M O K O S R E C O M M E N D M U S I C

このコーナーも 3 年目に突入しました。オススメの音楽の偏りに少し反省しつつ自分の好みもブレずに書いて行きたいと思います。今月のオススメは US インディーズの代表格、アニコレこと「Animal Collective」の 3 年半ぶり 11 枚目の「Painting With」です。アニコレはアメリカのボルチモア出身、メンバーは 4 人でアルバム毎に参加メンバーが異なる不定形として活動しながら数枚のアルバムを発表、アンダーグラウンド・シーンで注目を浴びました。09 年「MERRYWEATHER POST PAVILION」は各音楽メディアが発表する年間ベストアルバムの 1 位を多く獲得し高い評価を得ました。音楽性はサイケデリックな主旋律、ノイズ、現代音楽、トライバル・ミュージック、アンビエントといった様々なジャンルを独自のセンスでごちゃ混ぜにした雑食性が特徴。この意識的ごちゃ混ぜが奇妙で楽しい。今作はエイヴィー・テアことデイヴ・バンダ・ベアことノア、ジオロジストことプライアンの 3 人が参加。彼らの秀逸な音楽センスでサイケデリックを軸に、前作よりも纏ったひねくれポップで賑やかな実験的音楽を聞かせてくれます。1 曲の「FloriDada」を聞いたあとは必ず口ずさみたくなると思いますよ。私はずっと脳内無限ループ中です。

ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。
 発行: 株式会社エディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4 www.adproject.co.jp

皆様の いいね! をお待ちしております。
[facebook adproject](https://www.facebook.com/adproject.japan) 検索
 もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>

2016 3 vol.046

Legend

創造への道③

～仲良創造元年～



ゼネラルプロデューサー 榎垣 俊幸

■地球主義的環境創造
 私達が物事を考えるには有効な領域があります。「ドメイン」と称する、それらの考えが及ぼす有効な領域は地域や年齢や人種によって異なります。しかし、SNSや情報のオンデマンド (同時共有) 化によって、その領域は地球全域にと言って良い程、広く、深く、多彩に成っています。ゆえに、思考内容が地球全体を対象とする設定条件である事が必須となります。その為には「いつでも」「どこでも」「誰にでも」のコンセプトの情報収集が出来るシステムを持つ事が必須になります。その為にはSNSによる未検証な情報を受信し早い時間で処理ができる検証構造の確立が大切になります。また、信頼できる情報の収集発信が「素早く大切な要素」となります。adprojectが、世界の重要な情報発信の拠点になる事も大切な事です。信頼できるネットワークを持つ事と、送受信拠点になる事が大切です。その為にはネットワークの構築が次世代への課題となります。adprojectの新しい課題でもあります。それには、革新的変革を続ける事が必要となります。やがて、国家の概念や機能が変わり権力の持たない時代になり、地球概念が最小公倍数として承認される時代に変わり、全体主義個別効果な価値を求める時代となり、生存環境が銀河の宇宙空間になる日々が来る時に備え、「更なる日々のポジティブ、マインド」とはどのようなものであるかを考える事が、今日のポジティブ・シンキングに繋がります。私達は想像する未来絵図を持ち描く事が、幸せと努力のポテンシャルに繋がります。その為には、いかにポジティブ・シンキングが大切かは明白ですね。そこで、「四季の変化」自然の能力から学びましょう。また、左右にぶれた難解で支離滅裂な私の文章から、文脈の隙間に面白さを見つける手法を紹介します。笑えます。
 ①最後まで飽きないで見ます。
 ②大切な話をごまかしてます。
 ③どうでも良い話を大切に語ってます。先ずは、私の文脈から自己破壊を始める事から始めてください。これがロック話の解説法です。
 ■春夏秋冬話法 春 編
 春には「夢心地」の話から始め心を開き話かけましょう。そうする事によって人々は自分の意見として完全消化します。
 春には「華の思い」を織り交ぜ幸せになった話を三回はいたしましょう。そうする事によって花や色に接した時にあなたを思い出させます。



EDGE Positive mind

adtain
 adproject-entertain
 Newspaper

モデル: Vlada / Height:173cm B:85 W:60 H:89
 事務所: ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

adtainとは、adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌

春には「その先の話」をしましょう。自分の飼っている動物の大きくなった話などをする事で自分と相手との話の距離感を設定できます。
 春には「問い掛け」から話しましょう。あの話の先がどうなったかの問い掛けを入れる事で二人の旧友関係を想起させ、理解し合っている関係を新しく再設定が出来ます。

秋こそ「スローなテンポで」言葉の余韻を残し形容詞を大切にすることで思いと夢が伝わりやすくなります。
 秋こそ「尊敬する言葉で」美しく貴賓のある会話空間が生れ想像以上の効果が生れて内容が深く理解が創造されます。
 秋こそ「歌手になり切り」話す事で会話にリズム感とメロディー感が付き、暗記されやすく世界観とイメージーションを創造します。
 秋こそ「言葉よりも思いを先行」させて言葉に酔い戯れる事で好印象な記号性を獲得でき忘れられない一言になります。

■春夏秋冬話法 夏 編
 夏だから「笑顔の演出」を創造意識して、話を始める事で同僚である事意識させ本音の話を聞き出す事が出来ます。
 夏だから「視線を見上げる」会話のフレーズを意識し織り交せる事で親しみのある関係を生み出す事ができ互いの存在に喜びが生まれます。
 夏だから「身体の動き」を爽やかにする事で表現力が豊かになり、伝えようとする気持ちがストレートに伝わります。
 夏だから「花火の様に」夜空に打ち上げる様に言葉を打ち上げましょう。思い出に残る「コピー」となり、想起性の上ったワードとなります。

■春夏秋冬話法 冬 編
 冬には「告白のつもりで」小声で話し少ない言語で話す事で相手の五感が刺激され忘れない話になります。
 冬には「プレスをしっかりと」とる事で吐息の刺激を味わうシズル感のある激情興奮型のもう一つストーリーが生まれます。
 冬には「心温まる」小話を少し準備する事で会話のクオリティを上げ互いの深まりを実感する事が出来ます。
 冬には「感謝の気持ち」を前面に押し出す事によって、互いが素直な気持ちになり信頼関係が生まれます。

■春夏秋冬話法 秋 編



阪本 崇裕

- Title : スノーボードに行ってきました！！
- Place : 水上 宝台樹スキー場

今シーズン1回目、約2年ぶりのスノーボードに行ってきました。日頃の行いが良いからか、天気は晴れて絶好のスノボ日和。毎度おなじみの関越道の渋滞を避けるべく、朝6時に出発しましたが時すでに遅し… 20kmの渋滞情報が電光掲示板を照らしており、寝ぼけていた頭を瞬で起こしてくれました(笑)。やっとの思いでスキー場へ無事到着し、久しぶりのゲレンデにテンションは最高潮。更に、いざリフトに乗ろうと思ったら、「こ…これは」改札口ではありませんか！群馬県のマスコットキャラクター「ぐんまちゃん」が描かれたリフト券を改札機にタッチすることで利用でき、リフト乗り口の渋滞を解消しスムーズでストレスの無い運行を可能にしており、ついに時代はここまで進化してきたのか！と実感しました。久しぶりのスノボだったので、転んだりするだろうなと思っていましたが、案外カラダが覚えていたようでケガなく楽しむことができました。スノボの後は鉄板の温泉に浸かってココロもカラダもリフレッシュ！日頃の疲れを存分に癒し、明日からの活力を養ってきました。また、せっかく遠方まできたので雰囲気も良さそうなそば屋へ寄って、キノコそばをいただきました。熱いお茶を友人にこぼしてしまったことはさて置き、このキノコそばですが、キノコの量が異常なくらいたっぷり入っていて、麺はどこにあるの？と探してしまうほどでしたが、とても美味しく良い思い出になりました。最後に、今シーズンはどのスキー場も積雪が遅くて営業が大変だとニュースで何度か取り上げられていて心配しましたが、宝台樹スキー場は若者を中心に多くのお客さんと賑わっていました。



ASSOCIATE PRODUCER : 黒川 和紀

- Title : あなたの仮説が世界をひっくり返す

突然ですが、皆さんは佐渡島庸平氏をご存じでしょうか？現在は株式会社コルクを立ち上げ、「宇宙兄弟」小山宙也さん、「働きマン」安野モヨコさん、「ドラゴン桜」三田紀房など名だたる人気漫画家が所属する日本初の作家マネージメント会社です。そんな、日本にはまだないサービスを実現する佐渡島さんが、「ぼくらの仮説が世界をつくる」とう著書を発行しています。”日本初！”や”世界初！”が大好きな広告業界にいる方には、参考になる考え方だと思います。今回、一部抜粋し2つご紹介です。

【①すぐに賛同者が出るアイデアは新しくない】

ぼくは「今ある情報が自分の考えている仮説と違う」とときには「情報のほうが間違っている」可能性も考えます。知り合いの経営者がこんなことを言っていました。「自分が言ったアイデアについて、まわりの人間が全員『それはいいでしょう』と反対したときこそ『このアイデアの素晴らしさに気付いているのは世界で自分だけだ！』と逆に興奮する」と。それを聞いてぼくも深くうなずきましたが、他の経営者も何人かが「自分も同じだ」と賛成していました。すぐに賛同者が出るようなアイデアは、新しいことではありません。「新しいことをやろう」と覚悟を決めているのなら、そういう態度でいることは大切だと、ぼくは自分に言い聞かせています。

【②自分が宇宙人だったらどう考えるか？】

大胆な仮説を立てるためには、あらゆる常識や、これまでの慣習というものに囚われず、自由に思考することが大切です。ぼくはものごとの本質を考えるときに「自分が宇宙人だったら、どういうふうに考えるだろう」と思考しています。ぼくは、中学生時代を南アフリカ共和国で過ごしました。高校生になって日本に戻ってきたとき、かなり客観的に、日本の習慣などを眺め、思考することができました。その感覚を意識的にするために、あえて極端に「宇宙人視点」という考え方を、客観的な視点を持つとうとしているのです。まだまだ参考になる考え方が、本書内には溢れています。是非、ご一読ください。

手前ミンソですが、

世界は、誰かが思い描いた「仮説」でできていきます。スマートフォンインターネットもパソコンも。車に電話、飛行機やロケットだって。あなたの身のまわりのものは、ほとんどがたった一人の「仮説」から生まれたものなのです。誰かが「こうなるはずだ」「こうするとみんながハッピーになるぞ」と思い描いた大胆な「絵」から、世界はつくられていくのです。あなたの仮説はなんですか？その仮説は、世界をひっくり返す可能性を秘めています。



Project 3.

Project 1.



ドローンの持つ二面性!! 使い次第では、凄く便利で凄く怖い!!



EXECUTIVE PRODUCER : 鶴田 勤



空中飛行、空中停止が出来る飛行物体ドローンが開発され、最初はピザ等を出前先へ届けたり、小さな宅配便を届けるなどとして利用出来れば便利で良いね的な事でしたが、今このドローンの機能や行動能力を利用し、政府関係の建物の写真を撮ったり、小型爆発物や細菌等を小箱に入れ空中から落とす等ドローン能力を利用した危険性が、今かなり重要視されています。テロリストがこれを利用すればミサイル等を使わなくてもいろんな所を攻撃出来ます。例えばピザの箱に爆発物を入れ空中から落とす事も出来るので、日本ではドローンの飛行を制限する改正航空法が2015年12月より施行され、それで不信なドローンを発見した場合空中で捕獲出来る、迎撃用大型ドローンを警視庁が開発しました。迎撃捕獲ドローンは1m四方で四方にアームが伸び、その下にネットが付いており訓練された専門の方が操作し、怪しげなドローンを下から上へ向かってすくって捕獲します。最近開発された大型ドローンは全長160cm幅220cmで最大1Kgを積載し、時速100Kmで1時間以上飛行出来るそうです。ヘリコプターより小回りが利き、地震や大雨等で孤立した被災地に医薬品や食料等を素早く届ける事が出来るそうでとても有難い事です。

最近テレビが つまらないのは誰の仕業？



PRESIDENT : 檜垣 俊吾

最近のテレビ番組がつまらなくなったと思うが、周りでもその声は多い。理由は様々ではあるが、番組制作の仲間が言うのは「苦情が来るから」と。それも視聴者はもちろんスポンサーから怒られたり、時には総務省から電話が来ることもあるという。確かに、自分が小さい頃に観たテレビからの影響やインパクトは大きかったように思う。そして、親が子ども達が見る番組をしっかりと規制していたように思う。たとえばテレビは9時までとか、1日テレビは2時間までなど。そしてその境界線が家庭によって若干違いがあったことも記憶している。親の怠慢が子どものスマホ依存を引き起こすといったニュースがあったが、テレビ番組も同じく親の怠慢の影響を受けているように思う。つまらなくなったのは、番組が作りづらくなった規制のせいだけではない。「つまらなくなった」を正確に言うと、どの局を見ても同じような番組しかやっていないので、全体としてつまらなく感じてしまう。局では「視聴率を獲れ！」「番組をハズすな！」「カネをかけるな！」に加え「問題を起こすな！」とチャレンジを許さない空気感があるため、今まで誰もやった事のない冒険などは出来ず、どの局もどの番組も視聴率が計算できる同じようなタレントを使い、同じようなひな壇に並べ(美術セット代が安いし、見やすいし、コントロールしやすい)、スタジオトークを展開し(リスクは少ないし、安い)、画面にはトーク内容をなぞる字幕スーパーをかける。結局、見た目の印象はあまり変わらない番組ばかりになる。それに加え制作側のアイデア不足が、興味がわかないテレビを作っている。それが結局メディア価値を下げてしまい、視聴率どころの騒ぎではなくなることを分かっているはずなのだが、なぜアイデアに力を入れない、興味深いテレビを作れないのは、もう負のスパイラルに入ってしまったからなのか。チャンスやチャレンジを与えられない局の体制と、それらを取り巻く広告代理店のせいなのでしょう。



パリ旅行

伊藤 美幸 (第3プロジェクト)



先日、パリに行ってきました。正直なところお金が無く、なるべく安く済ませるために、日本人女性しか宿泊出来ない、バス・トイレ共同6人部屋のゲストハウスに宿泊しました。異国に行っても日本人と交流するのもなんだか…と思っていましたが、これが大正解。夜はリビングで近所のスーパーで買った数百円で美味しいワインとチーズを皆で持ち寄り、夜通し喋り、毎日友人とお泊り会のような雰囲気でした。ミス・ユニバース日本代表の衣装パタンナーの方や、パリと日本で活躍されている若手ピアニストの方など、普段の生活ではなかなか知り合えない方と出会えました。皆さん自分の仕事に誇りと自信を持ち、それが表情や話し方にも現れていて、本当に素敵な方たちでした。私も何かひとつでも、これなら！と胸を張れる事が出来るように精進したいと思います。旅の一番の目的はカルティエ財団現代美術館で開催されている、森山大道写真展「DAIDO TOKYO」を見に行くことでした。没入型多面ディスプレイを使用したスライドショーでは、「都会の喧騒」が音の情景として使用されていて、新宿の雑踏としてなじみのある音なのに全然言葉として頭に入ってくず、自分が今パリにいる、という事もあり、まるで非現実の異世界にいるような感じがしました。

Project 2.

PRODUCER : 宮崎 詩子

- Event : JR 新宿ミライナタワー誕生！！
- Date : 2016年3~4月
- Place : JR 新宿南口近辺



ついにこの春、エーディープロジェクトから一番近いJR新宿改札の新南口が生まれ変わります！10年近く見ていた甲州街道からの建設風景は日常でしたが、いよいよ完成するのと思うと感慨深いものがあります。超高層ビル「JR新宿ミライナタワー」は地上32階、地下2階、高さ168.16m。駅構内(エキナカ/エキソト)に隣接するこのビルに、ルミネの新商業施設も3月からOPENします。「女性が輝き続けることができる経験と価値を提供する施設」ということで、NEW+WoMan→「NEWoMan(ニューマン)」。会社から一番近いJR新宿駅の改札に繋がる施設なのでADP女子には嬉しい限り♡ですね。その中でも、スイーツ女子の私としては、既に気になるお店が2つ。ひとつは、「ラ・パティスリー・デ・レーヴ」。2009年にパリでオープンしたこのお店は京都から日本2号店、1つ1つのお菓子を、まるで宝石を陳列するかのようり天井から吊り下げられたガラスケースにスイーツが入れられ、美しくディスプレイされ、その名の通りまるで夢(reve)のようなお菓子屋さんとして評されているお店です。そして、もう一つはシンガポールの世界が注目する女性パティシエ、ジャニス・ウォン氏のお店。彼女の作り出すスイーツは「edible art(食べられる芸術)」と呼ばれ、アートレベルの高さから、ルイ・ヴィトンなどハイブランドのイベントなどでも世界で引っ張りだこの女性なのです。食材のこだわりも強く、日本の柚子や熊本の味噌、そして白子などを食材として取り入れたりしているそうで、今からオープンが楽しみで仕方ありません☆ほかに、東京初上陸のお店がたくさん入る新宿南口の新スポット、要チェックです☆



見るだけでワクワクするディスプレイの美しさ
「ラ・パティスリー・デ・レーヴ」パリ店



ピエール・エルメやオリオール・バラゲという巨匠の下で修業したパティシエ、ジャニスウォン氏(左)の手がけるアートのようなチョコレート

Project 4.

PRODUCER : 岩下 信而

- Event : アメリカ大使館 農産物貿易事務所主催商談会
- Date : 2016年5月/6月
- Place : 都内ホテル



え〜今月は「アメリカ囃し」で一席申し上げます。最初に映画好きにはたまらない、アメリカを代表する祭典といえる「アカデミー賞授賞式」。選考委員への抗議からウィル・スミス夫妻の出席ボイコットが話題を呼んだが、幕を開ければ選考委員が大好きな「実在モノ」である「レヴァナント」でレオ様こと、レオナルド・ディカプリオが主演賞を初受賞。あえて大多数を敵にするのを承知に書くけれど、個人的にはどうもレオ様(の演技)は信用できない。出世作「ギルバート・グレイブ」(助演賞初ノミネート)以外は、何を演っても同じに見える、まるでキムタクみたい。あ、また敵が増えた(笑)。因みにぼくの子役出身の最良は、伊坂幸太郎のイノセントな青年から、金太郎、チンピラまでを飄々とこなす濱田岳です。

続いては、11月に行われる、4年に一度の「アメリカ合衆国大統領選挙」。代表的な予備選挙スーパー・チューズデイ直後は、対立候補の追い上げが凄いらしとのことですが、共和党のドナルド・トランプと民主党のヒラリー・クリントンの一騎打ちになりそう。もう何十年も前から、アメリカの象徴として活躍していたトランプ、ヒラリー共に70。気になるのは、現職のオバマ大統領も、ブッシュJrの歴任中も50代だったのにくらべると一回り以上も年長。個人的には、賢いけど無神経な次世代より、老獪だけど丁寧な先達を支持してしまう(あっ、また敵が)けど、気になりますね。さらに気になるのは、トランプの髪型(因みに小倉型ではなく柳生博型らしいです)とヒラリーの輪郭の経年変化だけれど、これまで新たな敵が生まれそう。段々と敵が強大になってきたところで、本業の「アメリカ産食品・飲料」の話題。この拙欄にも度々登場するアメリカ大使館のアレックス大塚さんプロデュースにより、一昨年は「アメリカ産地ビールとアメリカの代表的な食文化BBQ」の、昨年は「アメリカ外食のトレンド、フード・トラックと全米各地のサンドウィッチ」のプロモーションを成功させてきました。今年は、来る6月にまだまだ日本に紹介されていない魅力的なアメリカ産の食品や飲料を扱うサプライザー25社が来日して、100社以上の日本のバイヤーとの商談会を実現させます。それに先立ち5月には、アメリカ産のウィスキーを紹介する商談会も実施予定です。ただしどちらのイベントも、いわゆるB2Bなので、皆様の食卓や憩いのお時間に届くまでには、少しばかりの猶予をください。今年も豊か楽しくて、美味しい「アメリカ産の食品、飲料」をご紹介しますのでご期待ください！おなじみの「アメリカ囃し」の一席でございました。では次号、Ciao!



音楽の祭典はグラミー賞。デライター・スイフトと小澤征爾色の中、お気に入りのブルーノ・マーズとメイガン・トレイナーもしっかり受賞